

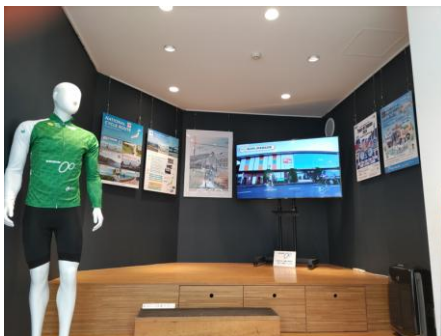
令和6年度「時事情報展示」報告

最新の自転車に関する情報を迅速に提供するため、ライブラリーに時事情報の展示エリアを設けました。掲示板を設置し、自転車に関する情報やニュースを随時掲示した。同時にギャラリー・ライブラリーを時事情報に基づいて展示替えを行った。

第1回「自転車月間—自転車で旅しよう—展」 ギャラリー開催

期 間：2024年4月3日～6月2日
来館者数：433名
内 容：

2024年1月1日に発生した石川県能登半島地震を受けて、石川県、福井県、富山県、新潟県の復興を支援するために、各県で自転車旅行ができるスポットやレンタサイクルの場所、地元の美味しい料理を紹介しました。また、3月16日から北陸新幹線の延伸開業があり、5月の自転車月間の紹介も合わせて、自転車を利用した観光を促進するテーマでイベントを開催した



第1回「災害自転車展」 ライブラリー開催

期 間：2024年4月3日～7月28日
来館者数：467名
内 容：

ギャラリーでの「自転車で旅しよう展」と同時。災害時に役立つ自転車の紹介を行いました。各メーカーの協力を得て、パンクしない自転車や荷物を運ぶための自転車、スペースを取らずに立てて駐輪できる自転車、浄水自転車機能をもつ自転車、発電機能を備えた自転車などを展示しました。発電自転車については、来館者に試乗していただき、実際に漕ぐことで電気を生成する体験を提供した。



特別展「自転車を点検しよう展」 ギャラリー開催

期 間： 2024年6月5日～7月15日
来館者数： 212名
内 容：
自転車に乗る前に点検を行い、安全にサイクリングや旅行、日常の買い物を楽しむための展示を実施しました。ブレーキやライト、タイヤの状態を確認する簡単な方法を紹介し、自転車屋さんでの点検も提案しました。また、展示と動画を通じて、自分でも点検できる方法をモニターで紹介しました。



第2回「自転車競技の世界展」 ギャラリー・ライブラリー開催 ※

期 間： 2024年7月18日～9月29日
来館者数： 709名
内 容：
パリオリンピック(7月26日～)およびパリパラリンピック(8月28日～)の開催に際し、自転車競技の種目と選手を紹介しました。(公財)JKA様のご協力により、自転車トラック競技の日本代表が使用する新しいバイク「TORAY」の展示が実現しました。モニターでは動画を流し、日本代表を応援する展示を行いました。来館者は自転車に興味がなくてもオリンピックには関心があり、展示をじっくりと楽しんでいただけた。



第3回「タンデム自転車展」 ギャラリー・ライブラリー開催 ※

期 間： 2024年10月2日～12月1日
来館者数： 379名
内 容：
秋のサイクリング日和にタンデム自転車で出かけてみませんか？という企画のもと、2023年東京都でタンデム自転車の公道走行が解禁となってから1年たったが、なかなか個人で乗る機会が無い。個人での所有も難しく、普及が進まないのが現状である。自転車文化センターでは様々な車種のタンデム自転車の展示をするとともに、タンデム自転車特有の交通ルールもパネルで紹介した。



第4回「競輪・ケイリン・KEIRIN展」 ライブラリー・ギャラリー開催 ※

期 間： 2024年12月4日～2025年2月16日
来館者数： 478名
内 容：
毎年12月末に行われるKEIRINグランプリについて、広く一般に周知するために選考基準や出場選手を紹介しました。各自転車関連団体の協力により、現在活躍中の古性優作選手のフレームと、ガールズの石井寛子選手のフレームをお借りし、展示することができた。お二人が優勝されたこともあり、非常に貴重な展示となった。



第5回「自転車を正しく乗ろう展」 ギャラリー・ライブラリー開催 ※

期 間： 2025年2月19日～3月30日
来館者数： 223名
内 容：
2024年11月1日より道路交通法が改正され、自転車のながら運転や酒気帯び運転に対する取締りが強化されました。2年以内に交通反則通告制度「青切符」が導入されることに伴い、「青切符」とは何か、なぜ取締りが強化されるのか、まだ知られていない法律についてパネルにまとめて詳しく解説した。



※補助事業対象事業(第2回～第5回)

競輪補助事業サイン

掲示タペストリー



令和6年度

自転車文化セン Joy 一時情報展示



BCC 自転車文化センター
Bicycle Culture Center

この事業は競輪の補助を受けて実施いたします。

第2回



自転車道を正しく乗ろう展

この展覧会は緑地の機能を広げて実践いたします。